

令和2年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体名：伊豆半島ジオパーク推進協議会

活動地域：伊豆半島15市町（熱海市，伊東市，
下田市，三島市，伊豆市，伊豆の国市，沼津市，函南町，西
伊豆町，松崎町，南伊豆町，東伊豆町，河津町，清水町，長
泉町）

活動におけるテーマ：伊豆地域をケースス
タディとしたサステイナブルツーリズム
(ST)評価体系の構築について

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



マンダラからわかること・問題意識

環境

- サイト(資源)が点在しているため活用しきれていない
- 自然再生エネルギーに関連した開発、災害の増加

社会

- ガイドの不足
- 情報発信に(地域的内容的な)ムラがある
- ジオパークの普及、浸透が不足している

経済

- 職業としてのガイド業が成立していない
- 若者の就業先の不足
- 交通の便が悪い地域がある
- ツーリズムの効果判定、成果指標の不備

観光客

- 観光客のマナー(地域との軋轢)
- 外国人へのコンプレックス
- リピーターの少なさ



伊豆半島におけるサステイナブルツーリズムのあり方を模索
: 環境・社会・経済のバランスに配慮した観光実践へ

伊豆のサステイナブルツーリズム指標について

サステイナブルツーリズムのポリシー、目標、取り組む事項を明確にし、その取り組みの進捗をモニタリングできる評価体系を自己分析ツールとして設計。

昨年度、指標72項目、KPI68項目を設定した→観光庁ST指標と方向性は一致

ポリシー	目標	項目	分野
①火山でできた伊豆半島の大地とそこで育まれてきた動植物・文化を尊重する	地域性の共有	認知度・関心度	社会
		ジオパーク活動への参加	社会
	観光や地域に対する意識の変容	住民意識の解明	社会
②伊豆半島の自然を保全し文化を継承する	自然観光資源の保全	自然観光資源の維持	環境
		エリア保全	環境
		安全対策	環境
	脱炭素社会の実現	エネルギー	環境
		温室効果ガス	環境
	観光公害 0 へ	観光公害の実態	環境
③人・モノ・カネ・情報・エネルギーの域内循環を向上させる	循環する経済活動	食料自給率の向上	経済
		観光産業の収益向上	経済
		観光産業の雇用創出	経済
		域内旅行者の取り込み	経済
		地域内経済循環の向上	経済
④観光業におけるサービス向上、雇用創出、所得増加、事業継続を目指す	長期的な経済活動	観光客の動向	経済
		宿泊業の動向	経済
		所得の向上	経済
	ジェンダーの平等		社会
⑤責任ある旅行者が伊豆半島の自然と文化を満喫できる時間と空間を提供する	観光や地域に対する意識の変容【再掲】	責任ある旅行者の育成	社会

今年度取り組んだこと

今年度の取組み内容：基礎調査、事業、エコツー構想と包括的に取り組む 基礎調査

- ①ホテル・旅館を対象とした地産地消に関する実態調査（ヒヤリング・アンケート）
- ②観光客・居住者のジオパークやサステイナブルツーリズムに関する意識調査（Webアンケ）

関連事業・構想

国立公園誘客推進事業「富士箱根伊豆国立公園伊豆半島地域および伊豆半島ジオパークにおけるE-BIKEを活用したサステイナブルツーリズムの推進」
伊豆半島エコツーリズム推進全体構想（事前協議中）

表 「地産地消」に対する考え・評価（2020年）

		回答数（人）	回答率（%） n=12
高 評 価	地域の活性化につながる	11	91.7
	新鮮なものが手に入る	9	75.0
	農林水産業の振興	9	75.0
	生産者が身近で安全・安心である	8	66.7
	旬なものが手に入る	8	66.7
	輸送距離が短くなり、環境負荷の軽減につながる	8	66.7
	食料自給率の向上につながる	4	33.3
	健康に良い	3	25.0
	価格が安い	1	8.3
	その他	1	8.3
低	価格が高い	4	33.3
評	品揃えが不安	4	33.3
価	形が不揃いで使いにくい	1	8.3

* 複数回答

（アンケート調査により作成）



写真 eBikeツアーの開発

課題①ホテル旅館の地産地消・環境経営

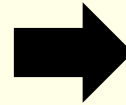
(食料の域内調達)

- ・ 地元の野菜を使いたいが入れルートがない
- ・ 価格が見合わない
- ・ 安定供給されるか不安

(環境認証)

- ・ ほとんど取得していないという現状

(アンケート調査より)



* ホテル旅館向け支援メニューの拡充を検討

- ・ 生産者とホテル旅館をつなぐツアーを検討
→課題: 中間業者(卸売)の参加促進

- ・ 環境認証については独自のブランド(ジオパークホテル)も併せて検討したい
→課題: 環境経営が経済成長につながる実感、成功事例を作ること

課題②マスツーリズムの弊害

- ・交通渋滞
- ・観光ごみ問題
- ・混雑

(webアンケートより)

→これらの課題を解決する観光政策が必要と認識するに至る



伊豆ジオチャリ

×

E-BIKE

gEo-Bike

* eBike事業
→観光公害だけでなく気
候変動にも対応。

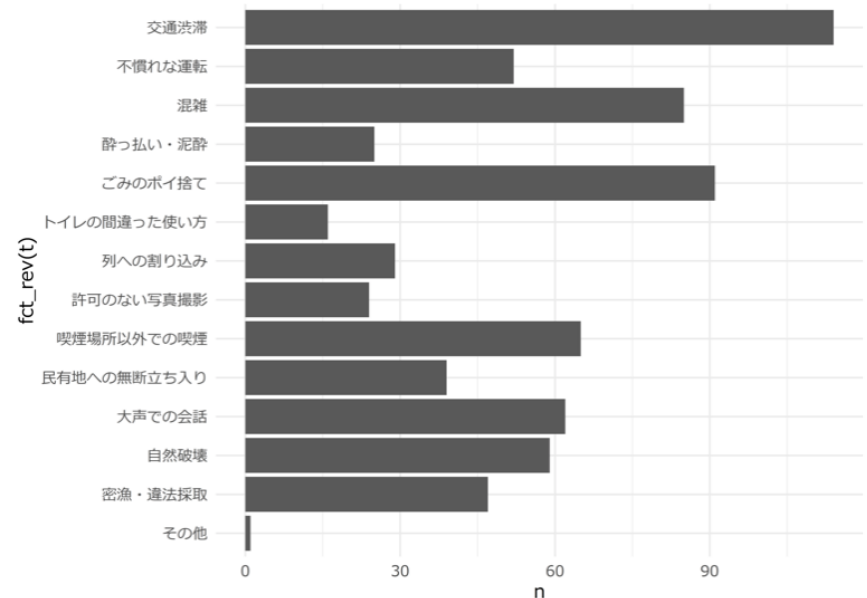
地元住民への観光公害について

不満や不便

伊豆半島へは年間4000万人以上の観光客が訪れます。あなたは、日常生活の中で観光客の行動に不満や不便を感じることはありますか。(お答えは1つ)

不満や不便の内容

Q18で「不満や不便を感じることもある」とお答えの方にお聞きます。どのような不満や不便を感じますか。あてはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)



次年度以降の展望

サステナブルツーリズムの考え方に基づいた観光地作り

* サスツー推進事業の実施



伊豆ジオチャリ

×

E-BIKE

gEo-Bike

- ・ホテル旅館支援
- ・エコツーリズム推進
- ・ガイドツアーの拡充
- ・ビジターセンター連携
- ・SDGsメニューの拡充
など

* 指標：成果をモニタリング

ポリシー	目標	項目	分野
①火山でできた伊豆半島の大地とそこで育まれてきた動植物・文化を尊重する	地域性の共有	認知度・関心度	社会
	観光や地域に対する意識の変容	ジオパーク活動への参加	社会
②伊豆半島の自然を保全し文化を継承する	自然観光資源の保全	住民意識の解明	社会
		自然観光資源の維持	環境
		エリア保全	環境
	脱炭素社会の実現	安全対策	環境
		エネルギー	環境
③人・モノ・カネ・情報・エネルギーの域内循環を向上させる	観光公害0へ	温室効果ガス	環境
		観光公害の実態	環境
		食料自給率の向上	経済
		観光産業の収益向上	経済
		観光産業の雇用創出	経済
④観光業におけるサービス向上、雇用創出、所得増大、事業継続を目指す	循環する経済活動	域内旅行者の取り込み	経済
		地域内経済循環の向上	経済
		観光客の動向	経済
		宿泊業の動向	経済
		所得の向上	経済
⑤責任ある旅行者が伊豆半島の自然と文化を満喫できる時間と空間を提供する	ジェンダーの平等		社会
		観光や地域に対する意識の変容【再掲】	社会
		責任ある旅行者の育成	社会

- * PDCAを回しながら、サステナブルな観光地づくりを推進し、
- ・世界規模の環境問題解決への貢献
 - ・マスツーの弊害を克服
 - ・地域経済に環境経営の視点を導入
- を目指したい(基本計画・行動計画に反映させる予定)。